

・教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

・学年の目標

- (1)楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2)基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3)様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

・本校では

友だちの歌声を聴きながら歌ったり、互いの声を聴きながら歌声を合わせたりしようとする習慣を少しずつ身に付けていきます。

毎朝、放送で「今月の歌」が流れ、生活の中で音楽に親しむ態度と習慣を身に付けます。

・評価の観点と方法

音楽科は、子どもたちが楽しく音楽活動を進めることによって、音楽に対する興味、関心を高め、その過程で親しんだ歌をみんなで歌ったり、聴いた旋律を自然に口ずさんだり、また、生活の中にある様々な音楽にも関心をもつようにしたりして、生活の中で音楽に親しむ態度と習慣を身に付け、生活を明るく潤いのあるものにする教科です。

評価は「音楽への関心・意欲・態度」「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能」「鑑賞の能力」の四つの観点で評価します。

○ 音楽への関心・意欲・態度

音楽に親しみ、楽しく活動しようとすることを目指します。友達の歌を聴いて一緒に歌い出したり、音楽を聴いて体を動かしたり踊ったりするなど、活動そのものを楽しんでいるかどうか、断続的に子どもの様子を見ていきます。

○ 表現の創意工夫

歌詞の表す情景や場面を想像して楽しんだり、登場する人物になりきって歌ったりしているか、また、拍の流れやフレーズを体の動きを通して受け止め、生き生きと歌ったり、楽器を演奏したり、身体表現をしたりして、音楽の楽しさを味わっているかななどを、行動や楽器の演奏、歌っている様子などで見ていきます。

○ 表現の技能

子どもたちが自分の歌声や演奏する楽器の音色に気を付けながら、共に楽しく歌ったり、演奏しようとしていたりしているかどうかを行動や楽器の演奏、歌っている様子などで評価します。

○ 鑑賞の能力

楽曲全体の気分や音楽を特徴付けているリズムや旋律などを感じ取ったり、楽器の音色に関心を深めたりしながら、音楽のよさや楽しさを感じ取っているかななどを、子どもたちの活動の様子で見ていきます。

・保護者へのお願い

音楽が生活の中にあるとき、生活は充実し豊かなものとなります。子どもたちが学習や学校生活で得た音楽経験を家庭や地域社会での生活にまで広げ、また、家庭や地域社会で得た音楽経験を学習や学校生活

に生かすことによって、生活は明るく潤いのあるものになります。家庭では、子どもと一緒にいろいろな音楽を聴き、歌ったり、子どもたちの楽器の演奏を聴いたりして、日ごろから、音楽に接するような環境づくりができればいいと思います。

4 ～ 5	ジェットコースター トランペットふきの休日/ 「ディベルティメント」から 小さなはたけ さんぽ ○よびかけっこでなかよし 山びごっこ かくれんぼ ことばでリズム どうぶつの歌 ・ゆかまなまきば ・こいぬのビンゴ ・どうぶつえんへ行こう ぴよんぴよこロックンロール おまつりワッショイ	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取って、歌い方や身振りを工夫する楽しさを味わうようにする。 ・楽器の掛け合いや重なり、強弱や速度の変化など、音楽を形作っている要素を感じ取って聴くことができるようにする。 ・フレーズを交互に歌うおもしろさを感じ取って表現できるようにする。 ・2拍子や4拍子の流れにのって、歌ったりリズムを打ったりする楽しさを味わうようにする。 ・音符・休符について、表現を通して理解できるようにする。
6 ～ 7	○楽しくドレミ ドレミのがっきであそぼう かえるのがっしょう あの青い空のように ラララ歌おう めざせ楽き名人 かっこう/チューリップ 夏だ! やおやのおみせ	<ul style="list-style-type: none"> ・階名唱に慣れ、楽器で演奏して楽しむことができるようにする。 ・いろいろな楽曲を通して、階名唱奏に慣れ親しむことができるようにする。
9 ～ 10	どんな音がきこえるかな 虫のこえ つき 虫の声をつくろう ○いい音見つけて ゆかま時計 森のたんけんたい	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの音に興味をもち、その表情や美しさ、おもしろさを感じ取って聴くことができるようにする。 ・歌詞の表す情景を想像し、思いをもって歌うことができるようにする。 ・楽器の音素材の響きに関心をもち、工夫して表現し、楽しむことができるようにする。
11 ～ 12	タヤげこやげ とんぼのめがね みんなの音楽時計をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色やリズムの繰り返し・変化を聴き取り、そのおもしろさを感じ取りながら、音楽の表している様子を思い浮かべて聴くことができるようにする。 ・楽器の音素材の響きを聴き取り、楽曲に合う音を探したり工夫したりして、演奏することを楽しむことができるようにする。 ・楽曲の気分を感じ取って、気持ちこめて表現できるようにする。

	<p>○おまつりの音楽</p> <p>村まつり 日本のたいこ おまつりの音楽をつくろう ジングルベル クリスマスソングメドレー</p> <p>ねこだつてサッカー ツッピンとびうお</p> <p>○ようすを音楽で</p> <p>1 そりすべり ～ こぎつね 2 汽車は走る しゅっぱつ 雪</p> <p>○みんなの音楽パーティー</p> <p>2 ウンバツパ ～ ティニックリング 3 チャチャマンボ マンボナンバーファイブ モーニング・チャチャチャ 音楽のおくりもの 春がきた きみがよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな太鼓の音楽の特徴を感じ取って聴くことができるようにする。 ・音型の組み合わせを工夫して重ね、音楽をつくる楽しさを味わうようにする。 ・自分たちのつくった音楽と共通なところを見つけながら、音楽を聴くことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の気分を感じ取って、生き生きと歌うことができるようにする。 ・リズムやかかけ声をつくり、拍にのって表現できるようにする。 ・楽曲の気分を感じ取って、気持ちをこめて表現したり鑑賞したりできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音やリズムを捉え、情景を想像しながら聴くことができるようにする。 ・歌詞や楽曲の気分合った表現を工夫することができるようにする。 ・反復を生かし、速度や強弱を工夫して、情景を音楽で表すことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れにのって、友達と声を合わせて歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。 ・楽曲のリズムに合わせて、友達と声や楽器を合わせて楽しむことができるようにする。 ・情景を想像し、楽曲の気分を生かした表現を楽しむことができるようにする。
--	--	---